

**花巻市東和地域協議会  
平成23年度第1回会議記録**

日 時	平成23年7月4日（月） 13:30～14:45							
場 所	東和総合支所1階 第1会議室							
委 員	役職	氏名	出席	欠席	役職	氏名	出席	欠席
	会長	小原 宏	○		委員	菊池 元子		○
	副会長	吉田 英雄	○		委員	猿舘 祐子	○	
	委員	浅沼 幸雄	○		委員	菊池 三恵	○	
	委員	小川 洋征	○		委員	平野 広	○	
	委員	平野 保	○		委員	門馬 優子	○	
	委員	赤坂 学	○		委員	藤井 公博	○	
	委員	多田 啓紀		○				
出席職員	東和総合支所 支所長 赤坂謙 地域振興課 課長 多田潤、地域支援監 青木力三、課長補佐 藤根幸生、地 域づくり係主査 伊藤精一、主任 新田正幸 市民サービス課 課長 藤井正昭 政策推進部企画調整課 課長補佐 松田英基、企画調整係長 菅野圭							
傍聴者	0名（うち報道機関0名）							

1 開会（司会：藤根課長補佐）

※ 出席者過半数により会議が成立することを報告。

2 会長あいさつ

協議会の開催が遅れたことに対しましてお詫び申し上げます。5月に会長、副会長及び事務局が集まって役員会を開催した。その中で今年度の協議会でどんなことをやったら良いか委員のみなさまにアンケートをお願いすることにした。今日はそれに基づいて協議していきたい。また、花巻市総合計画の見直しについて、政策推進部企画調整課から説明をいただくことになっている。自主活動計画についてこういうものが決まっているわけではないので、皆様からご忌憚のない意見をいただきたい。

3 報告（議長：小原会長）

花巻市総合計画の見直しについて

※ 企画調整課 松田補佐が説明。

小原会長	市担当課から説明をお願いします。
松田補佐	皆様のお手元にも会長宛ての（見直し中断の文書の）写しをお配りさせて頂いていると思いますが、昨年末花巻市総合計画の見直し素案ということで諮問させていただき、東和地域協議会におかれましては、1月24日にご答申

	いただき、その後パブリックコメント等を実施したところですが、3月11日の震災の影響により見直しをいったん中断させていただきたい。今回の見直し素案においてお示した定住人口、産業指標といった数値が（震災により）見通せない状況になった。また防災の面でも今まで私たちの想定をはるかに超える震災だったということから、根本的に見直す必要がある。「しごと」「くらし」「ひとづくり」という政策の三つの柱を掲げたが、特に「しごと」分野に対して見通しが立たなくなった。見直し素案の扱いに対して市長をはじめ協議をしたが、震災を抜きにした以前の計画を出すということではできない。根本的に時間をかけて見直す必要があるという結論に達した。委員のみなさまからは貴重な意見を多数いただきました。それを反映できなくて心苦しい。何卒事情をご賢察いただきご了承賜りたい。皆様からいただいた意見は今後の見直しで参考にしたい。
小原会長	このことに関してご意見等ある方は発言願いたい。
平野（広）委員	（もちろん）中断した計画の見直しは進めなければならない。もうひとつは、（見直しの）やり方を以前の方法で良いのか。（今までのよう）素案を検討するのではなく、（まちづくり条例のように、市民が一から）作るというチャンスにもなるのだと思う。
松田課長補佐	根本的に見直す必要があると考えている。市民の意見や参画の仕方から考え直しその方法等検討しているので、よろしくご意見をいただきたい。
藤井委員	（見直し時期の）ある程度の時期は決まっているか。
松田課長補佐	実態に即して早い段階でお示し（例えば24年度からの計画とか）したいが、なおまだ時間がかかると思っている。明確な期限をお示しできない状況です。ご了承いただきたい。
平野（保）委員	今度は中間的な見直しではなく、抜本的な見直しになるのか。
松田課長補佐	根本的に違うものになるかもしれない。それくらい抜本的に見直すという方向で検討している。
小原会長	委員の意見を参考に（見直しを）前に進めていただきたい。

#### 4 自主活動

平成23年度東和地域協議会自主活動計画について

※ 地域振興課 伊藤主査がアンケート結果について説明。

小原会長	皆さん方にアンケートをお願いしたところだが、これらを踏まえながら今年度の計画を作っていくたいと思っている。それではアンケートの集計について事務局から報告をお願いする。
伊藤主査	回答をいただいた方5名の皆さんの分について、名前を伏せてお示しました。
小原会長	まず、アンケート集計で1番目に記載された方に中身の説明をお願いする。
小川委員	（東和地域においては）人口が減少し高齢化が進んでいる。今後地域をどうするか、経済力・地域力を高める必要がある。農協や商工会が合併したことにより経済団体を指導する機能が低下してきている。10年から20年先

	<p>を見通して、地域経済を復興するような関係機関を、地域協議会が起爆剤になって（東和地域経済研究会を）設置したらどうかという提案です。</p> <p>見学したい施設は、農産物加工について岩手県工業技術センターを、菌床でしいたけやきくらげを栽培、出荷している先進的な施設（きのこSTO販売）を見学したい。</p>
小原会長	次にアンケート集計2番目の方よろしく願います。
吉田副会長	①東和高校の跡地利用について、②コミュニティ会議との地域課題を協議する、③震災が市に及ぼす経済的影響について提案する。また、知っているようで知らない市内の施設と、平泉が世界遺産に登録になったことから、平泉に関係する市内の歴史的な施設を見学したい。
小原会長	次にアンケート集計3番目の方よろしく願います。
平野（広）委員	沿岸地域への震災支援の取り組み状況についていろいろ知りたい。旧小学校の跡地利用について協議したい。たとえば今年も街角美術館を計画しているが、市職員の皆様にも関心を持っていただき、強制ではないですが参加いただければと思う。見学したい施設は、総合文化財センターを見学するとともに、大迫協議会と交流したい。
小原会長	次にアンケート集計4番目の方よろしく願います。
門馬委員	地域の活性化のために、協議会が果たす役割は何か。本年度取り組む目標について協議してほしい。特に、市民の参画する事業について検討してほしい。震災エフエムとして放送していたスタジオを見学したい。
小原会長	次にアンケート集計5番目の方よろしく願います。
藤井委員	3. 11の大地震がもし3ヶ月前の冬に起こったら、電気は二週間止まるだろうと言われている。また地域では人工透析の人を病院に運ぶために、除雪は誰ができるか等議論している。そこで、要支援者を東和総合支所と各自治体がどうやって連携したら良いか協議したい。見学したい施設は、東北電力、市水道の担当及びガソリン供給業者を呼んで、（震災時）どういったことが想定されるか聞く場がほしい。
小原会長	それぞれの方がそれぞれの思いでお話いただいた。これらを項目別にまとめると、小川さんのいう、地域の経済力を高める組織についてがまずひとつ。吉田さんの高校の跡地利用と平野広さんの旧小学校の状況、そしてコミュニティ会議との地域課題を協議し連携を図るが跡地利用と関連があることから、これらをひとくくりにはできないのではないか。藤井さんのいう災害時のことについて、吉田さんの震災が市に及ぼす影響についてと平野さんの震災支援の取り組み状況についてがひとくくりと、このようにまとめたいと思いますが、多田課長から参考意見をお願いしたい。
多田課長	まったくそのとおりだと思います。こういうふうにまとめてこれから議論したほうがよいと思う。ただ、委員に多少の意見のずれがあると思いますが、くくりはこれでよいと思う。
小原会長	このように取りまとめていくことで、みなさんよろしいですか。
委員全員	はい。
小原会長	見学したい施設については、1回だけではなく2回開催することも考えたい。みなさんよろしいですか。
平野（保）委員	跡地利用とコミュニティ会議との協議をひとくくりにするのには疑問を感

	じる。
小原会長	コミュニティ会議と協議の中で、跡地利用も議論したらどうかということです。
平野（保）委員	わかりました。
小原会長	自主活動なので毎月やってもいいと思う。せっかくご提案いただいたのでこれはダメだとは言いたくない。後は、震災支援の取り組み状況と藤井さんの災害時に要支援者支援は別問題だと思ったが、一緒にしてくっつけているんなら方面で勉強会をしたらどうか。
赤坂委員	市では被災者の登録を受け付けていて、特にその期限はないということです。
小原会長	今後どうやっていったら良いか。皆様のご意見を願います。
赤坂委員	平野さんが話した大迫地域協議会との交流を含む文化財センターの見学を最初にした方が良いでしょう。
藤井委員	吉田さんのコミュニティ会議との情報共有を最初に企画すれば、喫緊の課題が浮かび上がるのではないかと。
平野（広）委員	コミュニティ会議から課題を出してもらって、協議会とお互いに協議すればいろいろな知恵が出てくるだろう。
小原委員	ほかにありませんか。なければコミュニティ会議との地域課題を協議し情報の共有化を図るといことで、次の会を開催したい。
赤坂委員	施設見学はどうするか。
小原会長	市バスは出していただけそう。
多田課長	バスは確保できる。ただし昼食は自己負担になる。最初にコミュニティ会議と意見交換会を開催すれば、跡地利用とか震災対策等いろいろ出てくる。
赤坂支所長	震災の関係のことについて、沿岸地域の復興支援のこと、そして集落内での危機管理のあり方について、今市ではマニュアル作成に向けて内部で検討中である。マニュアルができれば（これももとに）勉強会ができる。9月にはコミュニティ会議との意見交換会、11月は地域防災関係、その間に諮問が入ってくれば同時開催もある。
多田課長	開催要項を作ってお示ししたい。これを見てご意見をいただきたい。
小原会長	次回を9月としコミュニティ会議について、11月を震災関係について、この間にもし良ければ施設見学、これでよろしいでしょうか。
委員全員	はい。
小原会長	今後、副会長や事務局と協議して進めていきたい。

5 その他  
特になし。

6 閉会（司会）